

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2021年8月3日）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 MFSグローバル・クオリティ・グロース株ファンド （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用） MFSグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 本邦貨建て公社債および短期金融商品等

当ファンドの運用方法	■投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行います。 ■指定投資信託証券の選定については、SMB Cグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社からの助言を受けます。なお、指定投資信託証券は、継続的にモニタリングを行い必要な場合は入替えも行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
------------	---

組入制限	■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
------	-------------------------

分配方針	■年1回（原則として毎年7月31日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
------	---

ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。  
（基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）

# 日興FWS・ 先進国株クオリティ （為替ヘッジなし） 【運用報告書(全体版)】

（2024年8月1日から2025年7月31日まで）

第 4 期

決算日 2025年7月31日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## 日興FWS・先進国株クオリティ（為替ヘッジなし）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)		公社債 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率			
(設定日) 2021年8月3日	円 10,000	円 —	% —	100.00	% —	% —	% —	百万円 1
1期(2022年8月1日)	10,542	0	5.4	111.31	11.3	0.0	96.8	1,375
2期(2023年7月31日)	12,082	0	14.6	134.18	20.6	0.0	96.9	2,541
3期(2024年7月31日)	14,794	0	22.4	170.67	27.2	0.0	97.2	3,143
4期(2025年7月31日)	15,473	0	4.6	199.11	16.7	0.0	97.6	3,471

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)		公社債 組入比率	投資信託 証券 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2024年7月31日	円 14,794	% —	170.67	% —	% 0.0	% 97.2
8月末	14,231	△3.8	167.75	△1.7	0.0	96.9
9月末	14,862	0.5	169.75	△0.5	0.0	96.9
10月末	15,434	4.3	182.65	7.0	0.0	97.1
11月末	15,378	3.9	183.83	7.7	0.0	97.0
12月末	15,845	7.1	191.20	12.0	0.0	97.5
2025年1月末	15,696	6.1	191.65	12.3	0.0	97.4
2月末	15,051	1.7	181.59	6.4	0.0	96.1
3月末	14,602	△1.3	175.15	2.6	0.0	97.2
4月末	13,515	△8.6	167.83	△1.7	0.0	95.3
5月末	14,495	△2.0	180.03	5.5	0.0	96.9
6月末	14,673	△0.8	188.64	10.5	0.0	96.0
(期末) 2025年7月31日	15,473	4.6	199.11	16.7	0.0	97.6

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2024年8月1日から2025年7月31日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	14,794円
期末	15,473円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+4.6% (分配金再投資ベース)

### 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### 基準価額の主な変動要因（2024年8月1日から2025年7月31日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行いました。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんでした。

#### 上昇要因

- インフレが落ち着きを見せたことにより、米欧で利下げが実施されたこと
- 底堅い景気や概ね堅調な企業業績を背景に、米経済のソフトランディング（軟着陸）の見方が強まったこと
- 米国と主要貿易相手国との貿易交渉が進展したこと
- 2025年6月以降、米中貿易交渉の進展やECB（欧州中央銀行）による利下げ停止の観測などからユーロ高・円安となったこと

#### 下落要因

- 期初の軟調な米雇用統計や米中の製造業指標を受け、世界的な景気悪化への懸念が高まったこと
- 米相互関税導入に伴う貿易摩擦の激化と世界景気への悪影響に対し、懸念が高まったこと

投資環境について（2024年8月1日から2025年7月31日まで）

グローバル株式市場は上昇しました。為替市場では対米ドルでは円高、対ユーロでは円安となりました。

## グローバル株式市場

グローバル株式市場は上昇しました。

期初は、軟調な米雇用統計や米中の製造業指標を受けて下落する場面がありました。しかし、インフレが落ち着きを見せる中、9月にF R B（米連邦準備制度理事会）が約4年半ぶりに利下げに転換するなど、米欧の中央銀行が利下げに動いたことや、底堅い景気や堅調な企業業績を背景に米経済のソフトランディングの見方が強まったことで上昇基調となりました。その後も、米新政権による保護主義的政策への懸念や米利下げペース鈍化観測といった悪材料をこなしつつ、2025年2月中旬まで概ね上昇基調を維持しました。

しかし、2月下旬以降は、米関税政策の不透明感から下落に転じ、4月には米相互関税導入に伴う貿易摩擦激化と世界景気への悪影響への懸念を受けてリスク回避の動きが強まり急落しました。

4月中旬以降は、米中貿易摩擦の緩和期待から反発し、堅調な企業業績や米欧の利下げ期待が支えとなり上昇を続けました。期末にかけても、米国と日本などの主要貿易相手国との貿易交渉の進展を受けて堅調となり、高値圏で期を終えました。

## 為替市場

為替市場では、米ドル／円相場はインフレリスク懸念を背景に、米国の利下げペース緩和が予想され米ドル高が進みました。年明け以降、米相互関税への懸念や日銀の利上げ観測などから円高が進み、期末には期初と比較して米ドル安・円高となりました。

ユーロ／円相場においては、期初から5月にかけて、円高要因と円安要因が交錯して160円を挟む展開となりましたが、6月以降は米中貿易交渉の進展やE C B（欧州中央銀行）による利下げ停止の観測などからユーロ買いが進み、期末には期初と比較してユーロ高・円安となりました。

ポートフォリオについて(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

## 当ファンド

「MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」の組入比率を高位に保ちました。

## MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

「MF Sグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド」の組入比率を高位に保ちました。実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんでした。

## (MF Sグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド)

### ●株式組入比率

主に日本を除く先進国の株式等の中から、中長期的に成長が期待できる銘柄を中心に投資を行い、株式組入比率は期を通じて高位に維持しました。

### ●国別配分

期末では、純資産総額の70%弱を米国に投資しています。米国以外では、フランス、中国の比率が高くなっています。

### ●通貨配分

期末では、純資産総額の70%以上が米ドル建てです。米ドル以外では、ユーロや香港ドル建ての比率が高くなっています。

### ●業種配分

期末の組入上位業種は、情報技術、金融、資本

財・サービスとなっています。これらの3業種の合計で純資産総額の60%以上を占めています。

### ●個別銘柄

期末の組入上位銘柄は、大手ソフトウェアメーカーのマイクロソフト(米/情報技術)、集積回路メーカーの台湾セミコンダクター(台湾/情報技術)、クレジットカード決済サービスのビザ(米/金融)となっています。

期中の売買では、ヘルスケア・化粧品大手のロレアル(仏/生活必需品)や世界有数の株式取引所のロンドン証券取引所グループ(英/金融)などを新規に組み入れた一方、スポーツ用品大手のナイキ(米/一般消費財・サービス)や大手化粧品メーカーのエスティローダー(米/生活必需品)などを全売却しました。

### ●ポートフォリオの特性

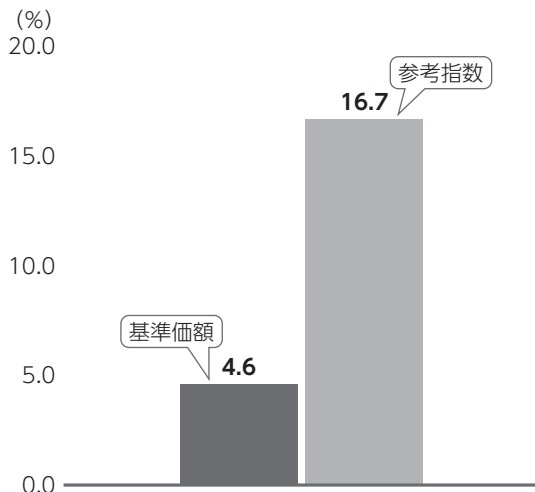
企業ファンダメンタルズ(業績、財務内容などの基礎的諸条件)の分析に基づき、強い価格決定力を備え、クオリティの高い持続的なキャッシュフローの成長が期待できる企業群への投資を継続しています。その結果、期末では、10業種71銘柄に分散したポートフォリオを構築しています。

## キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について（2024年8月1日から2025年7月31日まで）

## 基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

## 分配金について（2024年8月1日から2025年7月31日まで）

（単位：円、1万円当たり、税引前）

項目	第4期
当期分配金 (対基準価額比率)	0 (0.00%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,472

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」の組入比率を高位に保ちます。

### MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

「MF Sグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド」の組入比率を高位に保ちます。

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

### (MF Sグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド)

当ファンドは中長期的な視点から、本業に強み

を持ち、市場平均以上の収益やキャッシュフローの成長が継続的に期待され、かつバリュエーション(投資価値評価)も割安に放置されていると考えられるクオリティの高い企業群への投資を継続します。世界の金融市場や経済の動向、地政学リスクなどに留意しながら、MF S独自のリサーチプロセスに基づき短期的で不安定な市場の動向に過剰反応することなく、あくまで長期的視野に基づいた投資行動を行います。

### キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

- 投資助言会社を「S M B C日興証券株式会社」から「S M B Cグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社」へ変更することに伴い、信託約款に所要の変更を行いました。  
(適用日：2024年10月29日)
- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(適用日：2025年4月1日)

## 1万口当たりの費用明細（2024年8月1日から2025年7月31日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	33円	0.225%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） <b>期中の平均基準価額は14,775円です。</b> 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	34	0.230	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



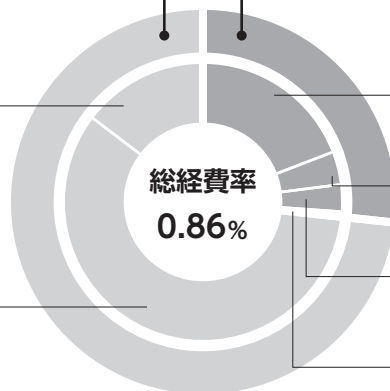
## 参考情報 総経費率(年率換算)

**2** 投資先ファンドの費用 0.63%

**1** 当ファンドの費用 0.23%

運用管理費用以外  
0.13%

運用管理費用  
0.50%



運用管理費用  
(投信会社) 0.17%

運用管理費用  
(販売会社) 0.03%

運用管理費用  
(受託会社) 0.03%

その他費用  
0.01%

<b>総経費率(1 + 2)</b>	<b>0.86%</b>
<b>1</b> 当ファンドの費用の比率	<b>0.23%</b>
<b>2</b> 投資先ファンドの運用管理費用の比率	<b>0.50%</b>
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

※ **1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ **2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、「1万口当たりの費用明細」をもとに、投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※ 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は0.86%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況（2024年8月1日から2025年7月31日まで）

投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	510,063,377	千円 778,343	398,181,076	千円 611,888

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等（2024年8月1日から2025年7月31日まで）

利害関係人との取引状況

日興FWS・先進国株クオリティ（為替ヘッジなし）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公 社 債	百万円 6,715	百万円 1,197	% 17.8	百万円 -	百万円 -	% -

※平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
（2024年8月1日から2025年7月31日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ■ 組入れ資産の明細（2025年7月31日現在）

## (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首（前期末）	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
	口	口	千円	%
MFSグローバル・クオリティ・グロース株ファンド （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	1,986,535,894	2,098,418,195	3,387,056	97.6
合 計	1,986,535,894	2,098,418,195	3,387,056	97.6

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

## (2) 親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数
	千口	千口	千円	千円
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	19	19	20	20

※キャッシュ・マネジメント・マザーファンドの期末の受益権総口数は4,967,466,101口です。

## ■ 投資信託財産の構成

(2025年7月31日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3,387,056	97.5
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	20	0.0
コール・ローン等、その他	87,601	2.5
投資信託財産総額	3,474,678	100.0

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年7月31日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	3,474,678,188円
コール・ローン等	87,601,337
投資信託受益証券(評価額)	3,387,056,808
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド(評価額)	20,043
(B) 負 債	3,654,697
未払信託報酬	3,499,338
その他未払費用	155,359
(C) 純資産総額(A-B)	3,471,023,491
元 本	2,243,313,780
次期繰越損益金	1,227,709,711
(D) 受益権総口数	2,243,313,780口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,473円

※当期における期首元本額2,124,903,759円、期中追加設定元本額576,759,282円、期中一部解約元本額458,349,261円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2024年8月1日 至2025年7月31日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	326,414円
受 取 利 息	326,414
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	172,250,546
売 買 益	185,787,811
売 買 損	△ 13,537,265
(C) 信 託 報 酬 等	△ 7,241,452
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	165,335,508
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	629,800,741
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	432,573,462
(配 当 等 相 当 額)	( 319,368,188)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 113,205,274)
(G) 合 計(D+E+F)	1,227,709,711
次 期 繰 越 損 益 金(G)	1,227,709,711
追 加 信 託 差 損 益 金	432,573,462
(配 当 等 相 当 額)	( 319,368,188)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 113,205,274)
分 配 準 備 積 立 金	795,136,249

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	312,698円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	165,022,810
(c) 収益調整金	432,573,462
(d) 分配準備積立金	629,800,741
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,227,709,711
1万口当たり当期分配対象額	5,472.75
(f) 分配金	0
1万口当たり分配金	0

## ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

MFSグローバル・クオリティ・グロース株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）  
第4期（2024年5月16日～2025年5月15日）

◎ファンドの仕組み

運用会社	MFSインベストメント・マネジメント株式会社
運用方針	<p>①MFSグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、日本および新興国を含む世界の株式を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。</p> <p>②マザーファンドでは、徹底したボトムアップ・アプローチをもとに、高い利益成長を持続的に遂げることで企業価値を高めていくと見込まれる銘柄に厳選投資します。</p> <p>③株式の実質組入比率は、原則として高位を維持します。</p> <p>④実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤マサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニーにマザーファンドの運用の指図（国内の短期金融資産の運用の指図に係る権限を除きます。）を委託します。</p> <p>⑥当初設定後一定期間および資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合やファンドの投資目的が達成されない場合があります。</p>
主要投資対象	マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。

○損益の状況（2024年5月16日～2025年5月15日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益		232
受取利息		232
(B) 有価証券売買損益	△	42,114,419
売買益		15,422,228
売買損	△	57,536,647
(C) 信託報酬等	△	17,145,887
(D) 当期損益金(A+B+C)	△	59,260,074
(E) 前期繰越損益金		735,658,483
(F) 追加信託差損益金		427,548,702
(配当等相当額)	(	242,790,906)
(売買損益相当額)	(	184,757,796)
(G) 計(D+E+F)		1,103,947,111
(H) 収益分配金		0
次期繰越損益金(G+H)		1,103,947,111
追加信託差損益金		427,548,702
(配当等相当額)	(	243,394,592)
(売買損益相当額)	(	184,154,110)
分配準備積立金		756,519,815
繰越損益金	△	80,121,406

- (注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注4) 当期において、マザーファンドおよび当ファンドの投資信託財産の運用の指図にかかる権限の一部を委託するために要する費用として、委託者報酬から支払う額は7,280,028円です。  
(注5) 当期末における費用控除後の配当等収益(20,861,332円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(347,427,296円)および分配準備積立金(735,658,483円)より分配対象収益は1,103,947,111円（1万口当たり5,137円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○組入資産の明細（2025年5月15日現在）

親投資信託残高			
銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評価額
	千口	千口	千円
MFSグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド	2,098,807	2,096,402	3,250,262

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

# MFSグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド

第4期（2024年5月16日～2025年5月15日）

## ◎ファンドの仕組み

運用会社	MFSインベストメント・マネジメント株式会社
運用方針	①日本および新興国を含む世界の株式を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。 ②徹底したボトムアップ・アプローチをもとに、高い利益成長を持続的に遂げることで企業価値を高め、ていくと見込まれる銘柄に厳選投資します。 ③株式の組入比率は、原則として高位を維持します。 ④外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。 ⑤マサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニーに運用の指図に関する権限を委託します（国内の短期金融資産の運用の指図に係る権限を除きます。）。 ⑥当初設定後一定期間および資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合やファンドの投資目的が達成されない場合があります。
主要投資対象	日本および新興国を含む世界の株式を主要投資対象とします。

## ○組入資産の明細

(2025年5月15日現在)

### 国内株式

銘柄	株数	期首(前期末)		当期		末
		株数	金額	株数	金額	評価額
機械 (53.2%)		千株		千株		千円
ダイキン工業		2.1		2.8		45,094
情報・通信業 (46.8%)		—		7.6		39,717
オービック			2		10	84,811
合計			1		2	<2.3%>

\*銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

\*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
ADOBE INC	3	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ANALOG DEVICES INC	22	8	198	29,098	半導体・半導体製造装置
APPLE INC	29	23	498	72,865	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BECTON DICKINSON AND CO	11	15	272	39,826	ヘルスケア機器・サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	52	41	804	117,690	半導体・半導体製造装置
BOSTON SCIENTIFIC CORP	48	21	220	32,287	ヘルスケア機器・サービス
METTLER TOLEDO INTERNATIONAL	1	2	276	40,387	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMPHENOL CORP-CL A	35	52	450	65,861	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CHURCH & DWIGHT CO INC	43	48	452	66,215	家庭用品・パーソナル用品
CMS ENERGY CORP	—	66	455	66,624	公益事業
CREDICORP LTD	16	16	333	48,752	銀行
DANAHER CORP	10	19	366	53,629	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MOODY'S CORP	8	6	308	45,058	金融サービス
THE WALT DISNEY CO	22	27	312	45,746	メディア・娯楽
ELECTRONIC ARTS INC	9	—	—	—	メディア・娯楽
SALESFORCE INC	4	20	598	87,483	ソフトウェア・サービス
EQUIFAX INC	2	—	—	—	商業・専門サービス
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	21	36	237	34,670	家庭用品・パーソナル用品
FISERV INC	23	17	329	48,130	金融サービス
GARTNER INC	6	3	142	20,816	ソフトウェア・サービス
NVIDIA CORPORATION	5	45	612	89,603	半導体・半導体製造装置
GRACO INC	—	19	169	24,763	資本財
AGILENT TECHNOLOGIES INC	34	38	430	62,952	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MCCORMICK & CO-NON VGT SHRS	36	36	267	39,178	食品・飲料・タバコ
MARSH & MCLENNAN COS	9	9	218	31,995	保険
MICROSOFT CORP	40	37	1,695	248,062	ソフトウェア・サービス
XCEL ENERGY INC	15	—	—	—	公益事業
NIKE INC -CL B	39	33	205	30,024	耐久消費財・アパレル
PEPSICO INC	12	23	301	44,174	食品・飲料・タバコ
ROSS STORES INC	24	17	270	39,625	一般消費財・サービス流通・小売り
SCHWAB (CHARLES) CORP	29	29	253	37,089	金融サービス
POOL CORP	—	5	156	22,918	一般消費財・サービス流通・小売り
HDFC BANK LTD-ADR	84	83	599	87,664	銀行
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	7	7	247	36,133	素材
STARBUCKS CORP	32	9	79	11,683	消費者サービス
STRYKER CORP	4	4	174	25,486	ヘルスケア機器・サービス
TEXAS INSTRUMENTS INC	7	6	130	19,155	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	4	3	121	17,819	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CME GROUP INC	—	7	194	28,395	金融サービス
TJX COMPANIES INC	27	18	240	35,211	一般消費財・サービス流通・小売り
SAMSUNG ELECTR-GDR 144A	0.93	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MASTERCARD INC-CLASS A	3	3	224	32,872	金融サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	29	24	879	128,636	金融サービス
ACCENTURE PLC-CL A	17	19	640	93,645	ソフトウェア・サービス
VERISK ANALYTICS INC-CLASS A	3	—	—	—	商業・専門サービス
TE CONNECTIVITY LTD	15	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
APTIV PLC	27	—	—	—	自動車・自動車部品
EATON CORP PLC	10	13	444	64,988	資本財
ICON PLC	10	10	134	19,671	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HUBBELL INC	7	11	437	63,977	資本財
VEEVA SYS INC	—	4	118	17,364	ヘルスケア機器・サービス

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
STERIS PLC	19	22	520	76,174	ヘルスケア機器・サービス	
OTIS WORLDWIDE CORP	26	26	252	36,934	資本財	
AON PLC	14	11	406	59,405	保険	
CANADIAN PACIFIC KANSAS CITY	67	66	543	79,494	運輸	
VERALTO CORP	14	—	—	—	商業・専門サービス	
TE CONNECTIVITY PLC	—	15	253	37,009	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
APTIV PLC	—	20	138	20,329	自動車・自動車部品	
TRANSUNION	15	61	556	81,466	商業・専門サービス	
HILTON WORLDWIDE HLDGS INC	5	12	305	44,632	消費者サービス	
ALPHABET INC-CL A	48	17	282	41,268	メディア・娯楽	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,130	1,207	18,765	2,744,954	
	銘柄 数 < 比 率 >	54	52	—	< 75.6% >	
(カナダ)			千カナダドル			
DOLLARAMA INC	20	15	249	26,102	一般消費財・サービス流通・小売り	
CGI INC	33	32	490	51,381	ソフトウェア・サービス	
BROOKFIELD ASSET MANAGMT LTD	43	43	356	37,325	金融サービス	
THOMSON REUTERS CORP.	2	2	62	6,588	商業・専門サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	100	93	1,159	121,398	
	銘柄 数 < 比 率 >	4	4	—	< 3.3% >	
(ユーロ…フランス)			千ユーロ			
L'OREAL	—	4	150	24,698	家庭用品・パーソナル用品	
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	4	6	329	53,896	耐久消費財・アパレル	
CAPGEMINI	8	17	264	43,311	ソフトウェア・サービス	
SCHNEIDER ELECTRIC SE	15	17	388	63,524	資本財	
小 計	株 数 ・ 金 額	29	45	1,132	185,431	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	4	—	< 5.1% >	
(ユーロ…オランダ)						
WOLTERS KLUWER	14	14	232	38,045	商業・専門サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	14	14	232	38,045	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.0% >	
(ユーロ…スペイン)						
CELLNEX TELECOM SAU	57	56	182	29,915	電気通信サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	57	56	182	29,915	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 0.8% >	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	101	116	1,548	253,391	
	銘柄 数 < 比 率 >	5	6	—	< 7.0% >	
(イギリス)			千イギリスポンド			
DIAGEO PLC	21	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
EXPERIAN PLC	27	27	104	20,375	商業・専門サービス	
B&M EUROPEAN VALUE RETAIL SA	350	346	117	22,891	一般消費財・サービス流通・小売り	
小 計	株 数 ・ 金 額	398	373	222	43,267	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	2	—	< 1.2% >	
(スイス)			千スイスフラン			
NESTLE SA-REG	19	18	160	27,985	食品・飲料・タバコ	
JULIUS BAER GROUP LTD	17	17	102	17,901	金融サービス	
SIKA AG-REG	5	5	128	22,378	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	42	42	392	68,265	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	< 1.9% >	
(香港)			千香港ドル			
TENCENT HOLDINGS LTD	151	106	5,522	103,493	メディア・娯楽	
小 計	株 数 ・ 金 額	151	106	5,522	103,493	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 2.9% >	

銘柄	株数	当 期 末			業 種 等
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(韓国) NAVER CORP	百株 22	百株 3	千韓国ウォン 70,935	千円 7,412	メディア・娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	22 1	3 1	70,935 —	7,412 <0.2%>
(中国オフショア) KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A	11	21	千オフショア人民元 3,433	69,664	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	11 1	21 1	3,433 —	69,664 <1.9%>
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	1,956 72	1,964 70	— —	3,411,847 <94.0%>

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

\* 銘柄コード等に変更・相違がある場合は、銘柄名が同一であっても別銘柄として記載しています。

## 外国投資信託証券

銘柄	口数	当 期 末			
		口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) AMERICAN TOWER CORP	口 1,653	口 2,009	千アメリカドル 410	千円 60,097	% 1.7
合 計	口 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	1,653 1	2,009 1	410 —	60,097 <1.7%>

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 単位未満は切り捨て。

## ○損益の状況 (2024年5月16日～2025年5月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	41,835,525
受取配当金	39,995,593
受取利息	1,839,916
その他収益金	16
(B) 有価証券売買損益	△ 81,195,963
売買益	430,978,499
売買損	△ 512,174,462
(C) 保管費用等	△ 4,265,303
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 43,625,741
(E) 前期繰越損益金	1,345,597,291
(F) 追加信託差損益金	294,174,083
(G) 解約差損益金	△ 307,413,477
(H) 計(D+E+F+G)	1,288,732,156
次期繰越損益金(H)	1,288,732,156

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

第19期（2024年7月26日から2025年7月25日まで）

信託期間	無期限（設定日：2007年2月20日）
運用方針	■本邦貸建て公社債および短期金融商品等に投資を行い、利息等収入の確保を図ります。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準 円	価額		公社 入 社 比	債 率	純 総 資	産 額
		騰 落	中 率 %				
15期（2021年7月26日）	10,154		△0.1		62.8		百万円 5,851
16期（2022年7月25日）	10,152		△0.0		75.3		4,586
17期（2023年7月25日）	10,148		△0.0		68.8		3,220
18期（2024年7月25日）	10,147		△0.0		82.2		4,388
19期（2025年7月25日）	10,175		0.3		68.0		4,118

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

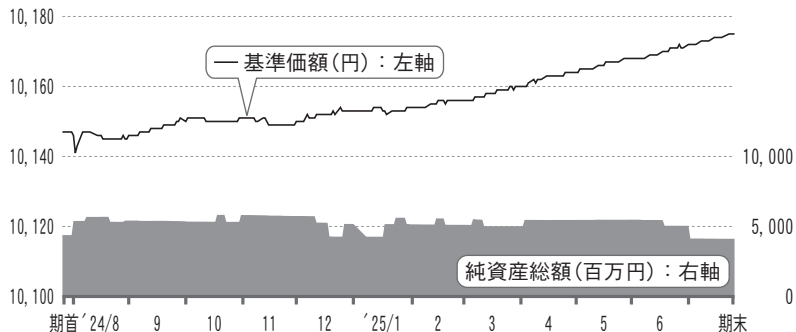
年 月 日	基準 円	価額		公社 入 社 比	債 率
		騰 落	率 %		
(期 首) 2024年7月25日	10,147		—		82.2
7月末	10,146		△0.0		63.0
8月末	10,146		△0.0		62.8
9月末	10,150		0.0		59.8
10月末	10,151		0.0		68.9
11月末	10,150		0.0		73.1
12月末	10,153		0.1		75.4
2025年1月末	10,154		0.1		70.0
2月末	10,156		0.1		70.4
3月末	10,160		0.1		65.8
4月末	10,164		0.2		69.6
5月末	10,168		0.2		69.6
6月末	10,172		0.2		69.3
(期 末) 2025年7月25日	10,175		0.3		68.0

※騰落率は期首比です。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について（2024年7月26日から2025年7月25日まで）

#### 基準価額等の推移



### ▶ 基準価額の主な変動要因（2024年7月26日から2025年7月25日まで）

当ファンドは、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。

#### 上昇要因

- ・日銀が2025年1月に追加利上げを行ったことを受け、短期公社債や短期金融商品の利回りが上昇し、利子等の収益を確保したこと

---

▶ **投資環境について（2024年7月26日から2025年7月25日まで）**

---

国内短期金融市場は下落しました。

7月末に日本銀行は日銀当座預金付利金利を0.25%へ引き上げ、無担保コール翌日金利を0.25%程度で推移するよう促すことを決定しました。8月に入ると円高や株安が進んだことでリスク回避の動きが強まり、国内金利は急低下しました。10月以降は米大統領選を受けた米国金利の上昇や日銀のタカ派姿勢を背景に、国内金利は上昇に転じました。2025年1月には日本銀行が無担保コール翌日金利の誘導目標を0.5%程度へ引き上げ、金利の上昇が続きました。4月以降は米国の関税措置や中東情勢の緊迫化が金利低下要因となったものの、関税交渉の進展や財政悪化懸念等を背景に、期末にかけて国内金利は上昇基調で推移しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、一時マイナス圏まで低下する局面もあったものの、10月下旬以降は上昇基調で推移しました。

---

▶ **ポートフォリオについて（2024年7月26日から2025年7月25日まで）**

---

安全性と流動性を考慮し、短期国債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期国債を中心とした運用を継続しました。

---

▶ **ベンチマークとの差異について（2024年7月26日から2025年7月25日まで）**

---

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

国内景気は米国の関税措置による下押し圧力がかかるものの、賃金上昇による消費の下支えや企業の設備投資需要の下、先行きは成長軌道に戻る見通しです。CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）の前年比伸び率は、コストプッシュ圧力の減衰が見込まれる一方で賃金上昇に伴いサービス価格が上昇することにより、教育無償化の拡充による一時的な下押しの影響を除けば、+2%程度の伸び率を維持できる見通しです。米国の政策運営やグローバル景気の先行きに対する不確実性が高いことは、金利の低下要因です。一方で、日銀は足元では様子見姿勢を続けているものの、不確実性の低下に伴い先行きは利上げ姿勢に戻ることが見込まれます。金利先高観の継続で国内金利は低下方向には進みにくく、米国と各国の貿易交渉が進む際には上昇圧力がかかる見通しです。

当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

### ■ 1万口当たりの費用明細 (2024年7月26日から2025年7月25日まで)

当期中における記載すべき項目はありません。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2024年7月26日から2025年7月25日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	4,195,721	(1,900,000)
	特殊債証券	1,320,426	(3,424,000)
	社債証券	199,805	(1,200,000)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

※社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2024年7月26日から2025年7月25日まで)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	D C
公 社 債	百万円 5,715	百万円 698	% 12.2	百万円 -	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2024年7月26日から2025年7月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2025年7月25日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	2,300,000 (2,300,000)	2,299,077 (2,299,077)	55.8 (55.8)	- (-)	- (-)	- (-)	55.8 (55.8)
特 殊 債 券 (除く金融債券)	400,000 ( 400,000)	399,896 ( 399,896)	9.7 ( 9.7)	- (-)	- (-)	- (-)	9.7 ( 9.7)
普 通 社 債 券	100,000 ( 100,000)	99,991 ( 99,991)	2.4 ( 2.4)	- (-)	- (-)	- (-)	2.4 ( 2.4)
合 計	2,800,000 (2,800,000)	2,798,965 (2,798,965)	68.0 (68.0)	- (-)	- (-)	- (-)	68.0 (68.0)

※ ( ) 内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

### B 個別銘柄開示 国内（邦貨建）公社債

種 類	銘 柄	期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国 債 証 券	1302国庫短期証券	%	千円	千円	2025/07/28
	1251国庫短期証券	—	400,000	399,986	2025/08/20
	1257国庫短期証券	—	1,000,000	999,738	2025/09/22
	1298国庫短期証券	—	500,000	499,685	2025/10/10
小	計	—	2,300,000	2,299,077	—
特 殊 債 券 (除く金融債券)	30 政保政策投資C	0.4250	200,000	199,980	2025/09/11
	258 政保道路機構	0.3860	200,000	199,916	2025/10/31
小	計	—	400,000	399,896	—
普 通 社 債 券	70 三菱UFJリース	0.2000	100,000	99,991	2025/07/30
小	計	—	100,000	99,991	—
合	計	—	2,800,000	2,798,965	—

### ■■ 投資信託財産の構成

(2025年7月25日現在)

項 目	期		末
	評 価 額	比 率	
公 社 債	千円	%	
	2,798,965	67.9	
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,323,176	32.1	
投 資 信 託 財 産 総 額	4,122,141	100.0	

## キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年7月25日現在)

項 目	期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>4,122,141,394円</b>
コーポレート債(評価額)	1,322,623,559
未収利息	2,798,965,300
前払費用	514,727
<b>(B) 負 債</b>	<b>3,220,136</b>
未払解約金	3,220,136
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>4,118,921,258</b>
元 本	4,048,063,050
次期繰越損益金	70,858,208
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>4,048,063,050口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>10,175円</b>

※当期における期首元本額4,325,119,397円、期中追加設定元本額5,969,693,751円、期中一部解約元本額6,246,750,098円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

SMBCファンドラップ・日本バリュー株	984,252円
SMBCファンドラップ・J-REIT	984,252円
SMBCファンドラップ・G-REIT	93,018,163円
SMBCファンドラップ・ヘッジファンド	311,216,889円
SMBCファンドラップ・米国株	984,543円
SMBCファンドラップ・欧州株	89,718,432円
SMBCファンドラップ・新興国株	61,111,034円
SMBCファンドラップ・コモディティ	30,882,058円
SMBCファンドラップ・米国債	136,874,567円
SMBCファンドラップ・欧州債	68,341,252円
SMBCファンドラップ・新興国債	54,958,024円
SMBCファンドラップ・日本グロース株	167,596,581円
SMBCファンドラップ・日本中小型株	27,029,827円
SMBCファンドラップ・日本債	964,891,078円
日本株厳選ファンド・円コース	270,889円
日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	438,760円
日本株厳選ファンド・豪ドルコース	679,887円
日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース	9,783円
日本株225・米ドルコース	49,237円
スマート・ストラテジー・ファンド(毎月決算型)	12,541,581円
スマート・ストラテジー・ファンド(年2回決算型)	4,566,053円
カナダ高配当株ツインα(毎月分配型)	433,260円
日本株厳選ファンド・米ドルコース	196,696円
日本株厳選ファンド・メキシコペソコース	196,696円

日本株厳選ファンド・トルコリラコース	196,696円
グローバル創薬関連株式ファンド	984,834円
ひとくふうターゲット・デット・ファンド2030	27,486円
米国分散投資戦略ファンド(1倍コース)	550,473,667円
米国分散投資戦略ファンド(3倍コース)	351,673,614円
米国分散投資戦略ファンド(5倍コース)	445,153円
グローバルDX関連株式ファンド(予想分配金提示型)	295,276円
グローバルDX関連株式ファンド(資産成長型)	1,968,504円
日興FWS・日本株クオリティ	19,697円
日興FWS・日本株市場型アクティブ	19,697円
日興FWS・先進国株クオリティ(為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・先進国株クオリティ(為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・先進国株市場型アクティブ(為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・先進国株市場型アクティブ(為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・新興国株アクティブ(為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・新興国株アクティブ(為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・日本債アクティブ	19,697円
日興FWS・先進国債アクティブ(為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・先進国債アクティブ(為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・新興国債アクティブ(為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・新興国債アクティブ(為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・Jリートアクティブ	19,697円
日興FWS・Gリートアクティブ(為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・Gリートアクティブ(為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・ヘッジファンドマルチ戦略	19,697円
日興FWS・ヘッジファンドアクティブ戦略	19,697円
トータルヘッジ用ファンドSMT1号<適格機関投資家限定>	1,113,669,480円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2024年7月26日 至2025年7月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	19,008,435円
受 取 利 息	19,008,435
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,672,541
売 買 益	1,417,014
売 買 損	△ 6,089,555
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	14,335,894
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	63,542,584
(E) 解 約 差 損 益 金	△97,729,397
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	90,709,127
(G) 合 計(C+D+E+F)	70,858,208
次 期 繰 越 損 益 金(G)	70,858,208

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(適用日：2025年4月1日)